

## 平成28年度 学長戦略経費（学術研究（公募型プロジェクト））研究成果概要報告書

プロジェクトの名称	認知心理評価室 (E111) 内に組立型の防音室を設置 3.0帖ハイlong 1798(1714)×2678(2594)×高さ2207(2098) 重量640 学習評価室 (E110) の壁面に防音壁を設置
経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input checked="" type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
報告者氏名・所属・職名	旭川校 教育発達専攻特別支援教育分野 教授 萩原 拓
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	萩原 拓（責任者全体統括） 片桐 正敏（実験推進者） 蔦森 英史（実験推進者）
<b>研究内容及び成果の概要</b>	
<p>本研究プロジェクトでは、医師や学校教員などの紹介により心理アセスメントを希望された児童生徒を対象として、行動評価、心理・学習能力検査を中心としたアセスメントを実施している。加えて、発達障害のあるお子さんを対象とした認知心理学実験を実施することにより、発達障害とその近接領域にある人の行動の背景にある認知機能の解明を目指している。心理アセスメントは、学校や家庭での学習および生活に関する具体的なアドバイスを行い、学校側と連携して子どもの学習支援に役立てられるよう実施している。認知心理学実験は、効果的な支援方法を今後開発していくために不可欠な基礎研究として実施している。</p> <p>なお、心理アセスメントについては、昨年度より実施をしているが、研究推進重点設備費により整備した環境では実施できていない（防音壁の設置が平成29年3月）。加えて、認知心理学実験についても、防音室及びエアコンの整備が完全に終了したのが平成29年3月21日であり、現時点で研究データの取得に至っていない。従って、現時点で研究推進重点設備費により整備した環境を以下に記載し、報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組み立て式防音室35dB 2帖（サイレントデザイン社製）</li> <li>・防音壁（ピアリビング社製）</li> <li>・防音室内設備（シーリングライト、インターホン、延長コード）</li> <li>・エアコン</li> </ul> <p>計 1,500,000円 （詳細は経費支出内訳に記載。なお、エアコン設備の取付工事が想定よりも高額であったため、不足分はプロジェクト担当3名で按分した）</p>	
<b>成果の公表の状況</b>	
【著書】なし	
【学術論文】なし	
<b>教育現場で活用可能な分野等</b>	
特別支援学校、および特別支援学級、通級指導教室、通常学級における学習困難および生活適応困難のある児童生徒に対する学習、生活支援に対して活用可能である。	
配布又はダウンロード可能な資料	
問合わせ先	代表者：萩原 拓 電 話：0166-59-1320 FAX：0166-59-1320 mail：hagiwara.taku@a.hokkyodai.ac.jp